

保護者様

京都市立洛央小学校
校長 鈴木 宏紀

令和7年度学校評価（後半）を振り返って

学校評価にご協力ありがとうございました。

令和7年度学校評価（後半）の集計結果をお知らせします。先日は保護者の皆様、児童（低、高学年別）、教職員による評価（振り返り）のアンケート（インターネットを利用した回答形式）にご協力いただき、ありがとうございました。

洛央小学校では、「人を大切に、心ゆたかに たくましく生き抜いていく子～みんなで問題を解決する力を育てる～」を教育目標とし、教育活動を進めています。1学期の時と同じ質問内容で実施しています。今回の集計結果を真摯に受け止め、3学期や来年度以降の教育活動の改善に繋げていくように活用させていただきたいと考えています。

①子どもは、自分で（自分たちで）考えて解決しようとしていますか。（保護者）

新しいことやわからないことがあったとき、まず自分で（自分たちで）考えようとしていますか。（児童）
子どもたちが自分で（自分たちで）考えて解決するような取組をしている。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	23%	66%	10%	1%
児童（高学年）	51%	39%	7%	3%
児童（低学年）	64%	31%	4%	1%
教職員	24%	74%	0%	2%

②子どもは、友達と協力できていますか。（保護者）

いろいろな活動で、友達と協力して取り組めていますか。（児童）
子どもたちが友達と協力できるように取り組んでいる。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	28%	65%	5%	2%
児童（高学年）	54%	35%	7%	4%
児童（低学年）	70%	26%	3%	1%
教職員	36%	62%	2%	0%

③子どもは、進んで体を動かしたり運動したりしていますか。（保護者）

自分から進んで体を動かしたり運動をしたりしていますか。（児童）
子どもたちが進んで体を動かしたり運動したりするように取り組んでいる。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	40%	38%	19%	3%
児童（高学年）	50%	26%	17%	7%
児童（低学年）	71%	21%	6%	2%
教職員	24%	55%	19%	2%

④家庭では、子どもが進んで学習に向かえるように声かけなどをしていますか。(保護者)

自分から進んで学習に取り組むことができましたか。(児童)

子どもたちが進んで学習に向かえるように取り組んでいる。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	26%	63%	10%	1%
児童（高学年）	49%	37%	10%	4%
児童（低学年）	53%	40%	4%	3%
教職員	28%	68%	2%	2%

⑤家庭では、子どもが自分や人を大切にできるように声かけなどをしていますか。(保護者)

自分や友達を大切にできましたか。(児童)

子どもたちの自分や人を大切にする心が育つように取り組んでいる。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	43%	55%	2%	0%
児童（高学年）	68%	27%	3%	2%
児童（低学年）	77%	21%	2%	0%
教職員	41%	51%	8%	0%

⑥家庭では、子どもたちの健康を意識して生活リズムを整えるようにしていますか。(保護者)

健康に注意して生活できていますか。(児童)

子どもたちの健康管理について取り組んでいる。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	36%	57%	6%	1%
児童（高学年）	52%	29%	13%	6%
児童（低学年）	62%	31%	5%	2%
教職員	38%	60%	0%	2%

⑦学校（学級）は、子どもたちが最後まであきらめずに、勉強や課題に取り組むことができるよう支援していますか。(保護者)

最後まであきらめずに、勉強や課題に取り組むことができていますか。(児童)

子どもたちが最後まであきらめずに、勉強や課題に取り組むことができるよう支援している。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	30%	64%	5%	1%
児童（高学年）	48%	38%	8%	6%
児童（低学年）	72%	21%	6%	1%
教職員	40%	58%	2%	0%

⑧学校（学級）は、子どもたちが自分から進んでいさつができるように熱心に取り組んでいますか。(保護者)

自分から進んでいさつをすることができましたか。(児童)

子どもたちが自分から進んでいさつができるように取り組んでいる。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	31%	63%	5%	1%
児童（高学年）	51%	29%	11%	9%
児童（低学年）	68%	26%	4%	2%
教職員	21%	66%	11%	2%

⑨学校（学級）は、子どもたちが安全に過ごせるように安全指導（事故・事件・災害など）に熱心に取り組んでいますか。（保護者）

事故や事件などにあわないように安全に生活できていますか。（児童）

子どもたちが安全に過ごせるように安全指導（事故・事件・災害など）に取り組んでいる。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	36%	60%	3%	1%
児童（高学年）	68%	26%	4%	2%
児童（低学年）	74%	21%	3%	2%
教職員	39%	55%	4%	2%

⑩学校（学級）は、子どものよいところを見つけたり、伸ばしたりしていますか。（保護者）

自分にはよいところがあると思いますか。（児童）

子どものよいところを見つけたり、伸ばしたりできるように取り組んでいる。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	32%	62%	5%	1%
児童（高学年）	52%	29%	10%	9%
児童（低学年）	73%	20%	3%	4%
教職員	51%	47%	2%	0%

⑪学校（担任）は、子どもや保護者の質問や相談に熱心に応じていますか。（保護者）

困ったことがあるとき、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。（児童）

子どもや保護者の質問や相談に熱心に応じている。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	48%	47%	4%	1%
児童（高学年）	42%	29%	17%	12%
児童（低学年）	68%	21%	9%	2%
教職員	38%	62%	0%	0%

⑫子どもたちは、明日の学校を楽しみにしていますか。（保護者）

明日の学校を楽しみにしていますか。（児童）

子どもたちが明日の学校を楽しみになるように取り組んでいる。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	44%	42%	11%	3%
児童（高学年）	54%	28%	8%	10%
児童（低学年）	78%	14%	3%	5%
教職員	40%	56%	4%	0%



【学校と家庭の連携に関して】

設問⑤「自分や友達を大切にできましたか。」に関して、前期と同じく後期も95%以上の子どもが肯定的に回答しています。中でも、低学年については、前期と比べて、肯定的な回答をしている子どもが増えており、人を大切にしようとする意識をもっていることが分かります。また、保護者や教職員に関しても肯定的な回答が90%以上であり、学校と家庭が人を大切にすることについて、日ごろから子どもたちへの声かけや取組を進めている結果が表れていることが伺えました。一方で、設問②「いろいろな活動で、友達と協力して取り組めていますか。」について、高学年児童は、前期と比べると肯定的回答が4%程度減少していました。今年度は、授業において子どもたち一人一人が問い合わせをもち、自主的に追究する活動を積極的に取り入れるようにしてきました。ただ、友達と協力して問い合わせを見つけたり、みんなと一緒に物事を達成したりできているかについては、さらに助け合える部分があると感じているのかかもしれません。いろんな意見を出し合ったり受け止めたりした先にある、人との協力の姿勢を今後も子どもたちに付けていきたいと思っています。

設問①「新しいことやわからないことがあったとき、まず自分で（自分たちで）考えようとしている。」ことに関して、前期と比べると低学年児童の肯定的回答が4%ほど増えておりました。また、設問④「自分から進んで学習に取り組むことができましたか。」、設問⑦「最後まであきらめずに、勉強や課題に取り組むことができていますか。」に関して、前期と比べると高学年児童の肯定的回答がわずかではありますが増えていました。設問⑦に関しては、教職員も積極的に支援するように心がけており、1年を通して少しづつ自主的な学びの力が伸びつつあるのかもしれません。一方で、保護者の結果からは、①・④に注目すると、前期とあまり変わらず、肯定的回答が90%程度にとどまっています。子どもたちと日々生活をされている保護者の方からすると、まだまだ自主的に物事に取り組む力、家庭学習の力については伸びしろがあると感じておられるのかもしれません。学校では、本校の学校目標の中に『たくましく生き抜いていく子』、『問題を解決する力を育てる』を掲げ、日々の教育活動に取り組んでいます。今年度は日々の授業において、高学年を中心に家庭での学習として、「名読」を取り入れたことで、子どもたち一人一人が問い合わせをもって授業に臨み、それぞれが探究したい学習課題に向き合ってきました。また、生活科や総合的な学習の時間を中心に、校外学習に出かけ、現地の本物の様子を確認したり、実際に携わっておられる方にインタビューをしたりして、疑問を解決する姿も見られました。今後子どもたちが大人になって活躍していく社会では、人から言われたことを処理する仕事はAIが担うようになると言われます。一方で、自分で何をするかを決める仕事が残るとされ、「自分は何をしたいのか」という問い合わせをもって切り開く力が求められます。本校教育目標が掲げる問いを作り解決する力をさらに家庭と連携しながら子どもたちにつけていきたいと思います。

【学校での取組に関して】

設問⑩「自分にはよいところがあると思いますか。」に関して、高学年の「そう思わない」の回答は昨年に比べ5%程度減少しましたが、全体としては前期とほぼ同じく19%が否定的な回答をしています。学校では、子どもたちのよさを授業や学校生活で見つけて励ましたり、ノートや成果物で表したものにはげましのコメントを残したりして子どもたちに返したり、学校行事等で子ども一人一人の活躍の場を保障したりするなどの取組を継続して進めてまいりました。また、今年度本校で取り組んでいる自主清掃の活動について、1年を通して、子どもたちは自発的に教室や校舎をきれいにしようと取り組みました。後期に高学年にとった自主清掃に関するアンケートの回答では、「気持ちよく月曜日が始められる」「教室がきれいになっていい」といった前向きな意見が見られ、教職員も積極的にねぎらったり、励ましたりするように心がけてきました。また、教職員の取組として、毎週水曜日の放課後を「子どもの日」と定め、グランドに残る子どもたちと遊んだり、わからないところと一緒に勉強したり、子どもたちが普段興味あることについて会話をしたりする時間を取り入れてきました。今後も、子ども一人一人の個性や特徴が生かされる取組を検討していきたいと思います。特に、子ども一人一人のよさを見つけたり伸ばしたりする取組を進める中で、設問⑪「困ったことがあるとき、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」についてもより肯定的な回答を増やしていきたいと考えています。私たちが子どもにとって自分のよさを認めてくれる一番身近な大人であるならば、子どもたちも安心して、信用して、私たちに心を開いてくれるはずです。子どもたちとのよりよい関係性を築いていけるよう、取組を進めてまいります。

設問⑫「明日の学校を楽しみにしていますか。」に関しては高学年児童で否定的な回答をしていた割合が、前期20%から後期18%へと減少が見られました。これは昨年度の同設問の回答と比べても減少していることが伺えました。今年度は高学年の時間割を週28時間とし、金曜日を5時間授業後下校とすることで、子どもたちは学ぶべき内容を精選して履修するとともに、その分早く放課後の時間となり勉強や遊びなどに有効に活用していくことができました。このように洛央校として今年度新たに行った取組について、高学年を中心に興味をもって取り組んだ子が増えたのかもしれません。今後も学校で伸ばせる力、友達との関わり合い、魅力ある授業を大切にして、日々の取組を工夫していきたいと思います。

